

# IoT 沖繩発グローバル IOT事業報告会

【那覇】スマートデバイスを中心とする情報通信機器の相互接続検証インフラ構築を旨とするIoTは、日、事業報告会「沖繩発グローバルIoT事業の展開」をモバイルを中心に繋がるIoT機器の相互検証の重要性」を那覇市の沖繩産業支援センターで開催した。県内外から51社82人が参加した。

2月27日に就任した齋(もたい)昭男理事長は、IoTの五つの活動①検証基盤の整備②国際連携③



人材の育成——を紹介し、IoTの活動への理解と積極的な参画を呼び掛けた。基調講演「グローバルIoT事業の展開」をモバイルを中心に繋がるICT機器の相互検証の重要性」で登壇した、電気通信大学大学院の中嶋信生教授は「イ



県内外から51社82人が参加した報告会④、と基調講演した電気通信大学大学院の中嶋教授

ンターオペラビリティ確保には1社では対応不可能で、オープンイノベーションが重要だ」と強調。その後、「組み込みソフトウェア分野における政策展開と沖縄への期待」(経済産業省商務情報政策局情報処

理振興課係長(技術制度・振興担当)瀧澤祐太氏)、「品質説明力強化に向けた業界の動向」(情報処理推進機構技術本部ソフトウェア・エンジニアリング・センター統合系プロジェクト(兼)組み込み系プロジェクトサフリーダー・田丸喜一郎氏)、「Internet of Things」と進化するスマート家電」(パナソニッククラウドソリューションセンタードソリューションセンター長・梶本一夫氏)、「SIBENTAからの検証業界への期待」(NTTデータ技術開発本部ソフトウェア工学推進センター長・富安寛氏)、「拡大するスマートフォン。新たな検証・評価に向けて」(ユビテック社長・荻野司氏)の講演が続いた。

最後に、IoTの池城成久専務理事から事業報告があった。12年度はIoT立ち上げ初年度として国内のアンドロイド全端末、スマートテレビ60万台を配備するほか、各種検証ツールも取りそろえ「会員企業がビジネスとして使える基盤構築を立ち上げ、開発のエンジニアから、検証のエンジニアの時代になる」と強調した。

電

その後、「組み込みソフトウェア分野における政策展開と沖縄への期待」(経済産業省商務情報政策局情報処

理振興課係長(技術制度・振興担当)瀧澤祐太氏)、「品質説明力強化に向けた業界の動向」(情報処理推進機構技術本部ソフトウェア・エンジニアリング・センター統合系プロジェクト(兼)組み込み系プロジェクトサフリーダー・田丸喜一郎氏)、「Internet of Things」と進化するスマート家電」(パナソニッククラウドソリューションセンタードソリューションセンター長・梶本一夫氏)、「SIBENTAからの検証業界への期待」(NTTデータ技術開発本部ソフトウェア工学推進センター長・富安寛氏)、「拡大するスマートフォン。新たな検証・評価に向けて」(ユビテック社長・荻野司氏)の講演が続いた。

最後に、IoTの池城成久専務理事から事業報告があった。12年度はIoT立ち上げ初年度として国内のアンドロイド全端末、スマートテレビ60万台を配備するほか、各種検証ツールも取りそろえ「会員企業がビジネスとして使える基盤構築を立ち上げ、開発のエンジニアから、検証のエンジニアの時代になる」と強調した。